みずほセミナーのご案内　内部監査・内部統制

かつてない難局を乗り切り、企業グループの継続的発展に貢献する

2日間で学ぶ「内部監査」の基本と実践

毎回好評！自ら監査業務に携わって来た講師が活きたノウハウを２日間で徹底指南

開催日時　2018年4月11日(水)～12日(木)　10:00～17:00

対象：内部監査担当幹部・スタッフ、継続企業をめざす経営幹部・監査役

改正会社法で企業集団単位の内部統制体制の整備だけでなく事業報告への運用の状況の概要の記載が求められています。激変する経営環境下にある各社にとって継続企業（ゴーイング・コンサーン）としての存続能力の確保が喫緊の課題ですが、従来の一般的内部監査や財務報告に係る内部統制の評価だけでは達成出来ません。本講座では、グループ会社を不祥事や経営破綻のリスクから守り、健全かつ継続的発展に導く「経営に貢献する実践的内部監査」の実施要領について、自ら監査業務と指導に携わって来た講師が、明快な理論と豊かな経験を基に、２日間にわたり丁寧かつわかり易くご指導いたします。経営に貢献する実践的内部監査の要領を修得されたい方々や、内部監査を活用されたい経営幹部の方々と監査役の方々のご参加をお勧めいたします。**<講師の最新の著書３冊を進呈>**　（詳しくは裏面をご覧ください）

講　師

元・三菱商事㈱ 監査部部長
㈳ 日本内部監査協会講師

川村 眞一氏

1970年三菱商事に入社。1980年から20年間の殆どを５ヶ国５社の海外事業投資会社でＣＥＯ等として勤務。2000年に監査部へ転籍。2001年より2004年まで監査部部長。2002年より現在まで日本内部監査協会の講習会で講師を務めている。実務家ならではの実践的でわかりやすい講義には定評がある。

[主　著]
『現代の実践的内部監査』(2018.1)『取締役、監査役、監査部長等にとっての内部監査』(2013.8)『これだけは知っておきたい内部監査の基本（六訂版）』(2016.7)『これだけは知っておきたい内部監査の実務（三訂版）』(2016.2)『これだけは知っておきたい内部監査の手法 ① グループ会社の内部監査』(2009.9)『これだけは知っておきたい内部監査の手法 ② 不正・異常性発見の内部監査』(2009.12)『内部統制と内部監査（増補版）』(2008.9)（いずれも同文舘出版）

主　催　みずほ総合研究所
TEL 0120(737)132

会　場　当社セミナールーム
東京都千代田区内幸町１－２－１　日土地内幸町ビル３Ｆ
（ＪＲ・地下鉄銀座線新橋駅下車５分、都営三田線内幸町駅上）

参加費
★1社2名以上ご参加の場合は1名につき4,320円の割引をいたします。
（昼食代、テキスト代を含みます。不参加の場合も返戻はいたしません。）

特別会員	普通会員	非会員
49,680円（うち消費税 3,680円）	54,000円（うち消費税 4,000円）	60,480円（うち消費税 4,480円）

お申込みはホームページからどうぞ
セミナー最新情報もご覧いただけます
みずほセミナー　検索　http://www.mizuhosemi.com

郵便でのお申込みは
〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-1
みずほ総合研究所 人材育成事業部（セミナー担当）

FAX でのお申込みは
0120(737)219

No.30-1022　**「２日間で学ぶ「内部監査」の基本と実践」参加申込書**　(2018. 4. 11～12)

住　所	〒	TEL FAX	
会社名	（フリガナ）	従業員数	□ 100名未満　□ 100～300名未満 □ 300～1,000名　□ 1,000名以上
参加者	（フリガナ） 所属　役職　氏名	年齢満　才	
	（フリガナ） 所属　役職　氏名	年齢満　才	
派遣責任者名	所属　役職　氏名		
請求書送付先	所属　役職　氏名		
連絡事項			

※ご記入いただいた個人情報の利用目的、ご参加要領に関しては裏面をご覧ください。　※同業の方のご参加はご遠慮ください。

（Web用）

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

講義内容

☆最新の動向を織り込むため、以下の内容を一部変更させていただく場合があります。

Ⅰ そもそも「監査」とは → 事実の調査・評価・確認と形成した意見の提供

1．語源が意味する監査の本質 → よく聴きよく視て事実を確かめる　　2．監査が自生した経緯とその機能 → 保証（アシュアランス）業務とは
3．受委託関係と説明義務 → 内部監査においてはこの理解が重要　　4．三様監査（監査役監査、外部監査、内部監査）の目的、機能、相違点
5．ますます高まる継続企業の重要性とその要件 → 破綻しては元も子もない

Ⅱ ４つのキー・ワード → 企業を取り巻く４つのキー・ワードとその関係を押さえる

1．コーポレート・ガバナンス　　コーポレート・ガバナンスの概念の沿革、形態、本質
　改正会社法で新設された監査等委員会設置会社とは　　スチュワードシップ・コードとコーポレートガバナンス・コードとは
2．インターナル・コントロール（内部統制）
　内部統制の概念の沿革、ＣＯＳＯ報告書の概念と核心、「プロセス」とは、内部統制の本質、改正会社法の規定事項、金融商品取引法の規定事項
3．リスク・マネジメント　　リスク・マネジメントの概念の沿革、本質、留意事項、「危機管理」との違い
4．コンプライアンス　　コンプライアンスの概念の沿革、本質、「法令遵守」との違い
5．４つのキー・ワードの相関関係

Ⅲ モニタリング

1．有効な日常的モニタリングの重要性 → 内部統制の有効機能に必要不可欠の要件
2．継続企業に貢献する内部監査の重要性 → 第３の防衛線としての会社の自浄機能
3．不正のトライアングルの排除の重要性 → 機会を与えない日常的モニタリングの重要性

Ⅳ 経営に貢献する内部監査 → 基本がわかれば、どうすればよいかがわかる

1．経営に貢献する内部監査の３つの観点 → この理解が経営に貢献するための必須条件
2．現代の実践的内部監査の概観 → 事業体が健全かつ継続的に発展するための健康診断
3．内部監査人の属性 → スタッフ、独立性、客観性とは
4．内部監査の基本的目的と３つの具体的目的 → 無目的で行なうと成果が上がらない
5．内部監査の実効と実効を上げるための３つの要件 → この理解が内部監査の実効を上げる
6．監査リスク・ベースの監査の実施要領 → これが効率的かつ効果的内部監査の手法
7．テーマ監査の落し穴と部門別監査による補完 → テーマ監査では異常な事態を見落す
8．業務監査と会計監査の関係 → 会計監査によって業務監査が有効となる
9．趨勢分析の監査手続の重要性 → これが異常性の感知と事業継続能力の判断等に有効
10．財務報告に係る内部統制評価との違い → 本末転倒とならないために
11．従来の一般的内部監査との違い → これを知ると何がまずいのか、どうすればよいかがわかる
12．内部監査の実効を上げられない事由 → これを知ると何をどうすればよいかがわかる
13．チェック・リストと監査マニュアルの功罪 → チェック・リストと監査マニュアルには欠点がある
14．内部監査人に必要なもの、内部監査のプロフェッショナルとなるためには

Ⅴ 内部監査の17の基本用語とその意味を押さえる

1．監査目的　2．監査目標　3．監査対象　4．監査要点　5．監査項目　6．監査範囲　7．監査意見
8．監査証拠　9．予備調査　10．監査実施手順書　11．監査予備調書　12．実地監査　13．監査調書　14．監査結果通知書
15．監査報告書　16．回答書の入手　17．フォロー・アップ

Ⅵ 内部監査で使用する監査技術と監査手続を覚える

── 閲覧、突合、勘定分析、比較、趨勢分析、年齢調べ、面談、実査、確認 ──

Ⅶ 経営に貢献する内部監査の業務

1．実践的内部監査の基本的手続　①予備調査　②本格監査　③意見表明
2．内部監査における予備調査の重要性 → その実施要領と監査要点の設定要領
　①３段階の主要業務　②予備調査の実施　③統制リスクの識別　④監査要点の設定
3．実践的内部監査の具体的手続
　①予備調査の実施（関連書類の閲覧、分析、照合、比較、評価）　②監査目標・監査要点・監査範囲等の設定
　③監査実施手順書・監査予備調書の作成　④実地監査の実施（監査要点の当否の検証、監査証拠の入手、監査意見の形成）　⑤監査調書の作成
　⑥監査結果通知書・監査報告書の作成　⑦回答書の入手　⑧フォロー・アップの実施

☆上記の項目に沿ったテキストに４種類の参考資料を添付、講師の著書（３冊）を提供

※プログラムの無断転用はお断りいたします。

内容等に関するお問い合わせ先　TEL 03(3591)7513

・事前にご質問がございましたら、下欄にご記入ください。当日講師よりお答えいたします。

ご参加要領

① ホームページから簡単にお申込みができますので、是非ご利用ください。折り返し、電子メールにて参加証と請求書をお送りします。
　書面にてお申込みの場合は表面申込書にご記入の上、当研究所あて郵便またはファクシミリでご送付ください。
　折り返し、郵送にて参加証と請求書をお送りします。
② ご参加費につきましては請求書記載の金額に基づき、セミナーの３営業日前までに下記の口座にお振込みください。
　なお領収書の発行は省略させていただいております。
　　みずほ銀行　東京営業部　普通預金　No.２０３５８０２　ミズホソウゴウケンキユウシヨ（カ
③ 満員等によりお席をご用意できない場合は電話でご連絡申し上げます。
④ お取消の場合は開催日の前営業日17時までにお電話にてご連絡ください。参加費は全額ご返金いたします。なお、開催３営業日前までに参加費のお振込みがなかった場合でも、自動的にお取消とはなりません。前営業日17時までにご連絡が無かった場合はお席をご用意している関係上、参加費全額をご負担いただきますのでご留意ください。
⑤ 反社会的勢力と判明した場合には、セミナーへの出席をお断りいたします。
⑥ セミナー内容の録音・パソコン類のご使用はご遠慮願います。
⑦ 駐車場はございませんので、車でのお越しはご遠慮ください。
⑧ 車椅子のご利用等、お体が不自由でお席についてご相談のあるお客さまは、事前にご連絡をお願いいたします。
⑨ 諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。

宿泊施設のご案内

セミナーにご参加される方に限り、割引料金で契約ホテルをご紹介いたしております。

個人情報の利用目的

① 商品やサービス等のお申込の受付のため。
② 商品やサービス等のお取引における管理のため。
③ 商品やサービス等のご提供に必要なご案内・ご連絡・ご請求等を行うため。
④ ダイレクトメールの発送等、当社や提携会社等の商品やサービス等に関する各種ご提案・ご案内のため。
⑤ その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため。

みずほ総合研究所
セミナーのご案内はホームページでもご覧いただけます。 http://www.mizuhosemi.com

VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org
ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C008111